

令和6年第3回 曽於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第7】瀬戸口 恵理 議員	
質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 学校の働き方改革と子どもの学びの機会の確保について	<p>全国的に教職員の人員不足が問題となるなか、学校現場の負担軽減と子どもの学びの機会の確保は密接に関係していると考える。教職員が雑務に追わると、児童・生徒に接する時間が減少し、個別の対応も困難となる。</p> <p>また、過去の文教厚生委員会や決算の審査のなかで、学校活動支援員の配置について慢性的な人員不足であるため、増員等を含めて充実が図られるよう積極的に予算要求を行っていただきたいと意見があったと委員長報告にもある。</p> <p>① 学校現場の業務改善として主に取り組んでいることは。</p> <p>② 学校活動支援員の過去3年間の状況は。配置の人員は適正か。慢性的な人員不足の原因はどこにあると考えているか。</p> <p>③ 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）等の本市の取組みと見解は。</p> <p>④ 学校プールの維持費用と管理に必要な業務時間は。今年度の水泳授業の状況は。</p> <p>⑤ 部活動の地域移行の進捗は。モデル校となっている末吉中学校の状況と保護者や生徒の反応は。</p> <p>⑥ 福岡県古賀市は水泳授業の民間委託や夏休みを25日間に短縮して6校時目の授業を削減する等により、積極的に「教育の充実」と「教員の働き方改革」を進めている。休職者が減少し、県内の教職員から赴任先として人気が高い。赴任希望者が増えることにより、質の高い教職員が増えることが期待され、子どもたちにとってもメリットが大きいと考えるが、見解は。</p>	市長 教育長

<p>2 環境に配慮した持続可能な政策について</p>	<p>食料・農業・農村基本法の見直し等もあるように、環境に配慮した持続可能な農業を主流化する政策の導入が進展している。</p> <p>また、持続可能な環境に配慮する点においては、生物多様性への取組も関係するところである。</p> <p>① みどりの食料システム戦略への取組は。</p> <p>② 農林水産省の全ての補助事業等に対して、環境負荷軽減のクロスコンプライアンスの導入が令和6年度から施行実施されている。本市の対応は。</p> <p>③ オーガニックビレッジ宣言をする考えは。</p> <p>④ 生物多様性地域戦略の策定の進捗は。</p>	<p>市長</p>
<p>3 財部中央公民館の改修ときらめきセンターについて</p>	<p>① 財部支所庁舎の整備事業の進捗は。</p> <p>② 財部中央公民館の改修において、図書館が2階に移動になると知った複数の住民から不安の声が届いている。改修の具体的な構想は。</p> <p>③ 財部支所庁舎の整備事業に伴い、きらめきセンターが駐車場確保や空調設備の不具合等により利用できない状況が続いている。各団体等で年間行事の中止や場所変更等の影響が出ている。現状と今後の予定は。</p>	<p>市長 教育長</p>

令和6年第3回 曽於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第8】 山中 雅人 議員	
質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 曽於市の公民連携について	<p>① 本市は公民連携の強化の一環として、株式会社オガールの岡崎正信氏をアドバイザーとして起用している。今後の公民連携事業におけるアドバイザーの役割はどのようなものになるのか伺う。</p> <p>② 平成28年度の桜ヶ丘住宅建設の際にも、PFI事業による提案があり、公民連携アドバイザーの伊庭良知氏による研修・講演があったものの実現できなかった経緯がある。過去の取り組みでうまくいかなかつた原因と、今回の取り組みにおける成功への見通しについて伺う。</p> <p>③ 現在本市が研究している紫波町ではまちづくり会社を立ち上げており、都城市でも都城まちづくり会社を立ち上げ中心市街地の活性化に成功している。本市でもコンパクトシティ推進の一環としてまちづくり会社立ち上げの可能性はないのか伺う。</p>	市長
2 公共温泉の管理について	<p>① 全員協議会において、財部温泉健康センターの運営に関しては、5年前からそのあり方を検討していた旨の発言があった。当初の議論とはいかなる問題意識の下に行われていたのか伺う。</p> <p>② 他自治体の温泉の無償譲渡の推移を見ると、まず公共温泉管理計画を策定し公共温泉の運営の基本方針を定めることや公共施設管理計画に公共温泉のあり方について盛り込むことも多い。本市は温泉単独の施設計画もなく、公共施設等管理計画にも無償譲渡の検討はなかつた。本市でも公共温泉の維持・管理の方針についての計画の策定の必要はないか伺う。</p>	市長

3 治体広報のあり方について	<p>昨今の自治体は生き残りを賭け、新規住民の獲得に力を入れており、本市でも新年度に提案された食の支援事業、学校給食の完全無償化などで本市への定住を促進していきたい旨の答弁があった。</p> <p>一方で、定住を促進するためには市報のような本市の住民ではなく、市外・県外の住民に情報が届くアプローチを積み重ねる必要がある。</p> <p>現在そのような手法についてどのように取り組まれているのか伺う。</p>	市長
4 国道・県道の拡幅と県との関係強化について	<p>① まちづくりにおいて、国道・県道の歩道整備や拡幅を求めていくことは非常に重要であるが、国道10号線、国道269号線、県道2号線の整備における市の取り組みの現状について伺う。</p> <p>② 今年7月の選挙において、塩田知事が再選を果たしたが、市長として関係強化をどのように図っていくのか伺う。</p>	市長

令和6年第3回 曽於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第9】 岩水 豊 議員	
質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 伐採及び伐採後の造林について	<p>① 令和5年度の伐採及び伐採後の造林の届出件数を伺う。</p> <p>② 上記の伐採に係る森林の状況報告件数と、伐採後の造林に係る森林の状況報告件数を伺う。</p> <p>③ 未提出業者の指導の状況について伺う。</p> <p>④ 立木の伐採や集材に当たり、土砂流失等の苦情件数と対応の状況を伺う。</p>	市長
2 小中学校規模適正化について	<p>① 令和6年度の規模別学校数及び学級数の状況を伺う。</p> <p>② 小中学校の統廃合について、見解を伺う。</p>	教育長